

令和 5 年度事業計画

1 普及啓発事業

(1) 賛助会員の拡大

がん征圧運動に協力していただく賛助会員(維持会員)の拡大に努める。

(2) 征圧月間運動

がんに関する正しい知識の普及及びがん検診事業の拡大を図るため、北海道が展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間(9・10月)」と連携・協力し、各種事業を実施する。

ア 北海道庁ロビーにおける「がん予防普及パネル展」の開催

イ 婦人団体と連携し、街頭 PR の実施

ウ 報道機関と連携し、新聞・テレビ等メディアを通じてがん征圧月間の PR を実施

エ がん征圧月間ポスターを道内医療機関・市町村へ配布など

(3) 第 53 回がん予防道民大会

広く道民に対し、がんに関する正しい知識とがん検診の重要性について普及啓発を行うとともに、がん予防の実践とがん検診事業の進展を図ることを目的として、昭和 40 年から、がん征圧月間の中心事業として全道各地で開催してきている。

令和 5 年度は次のとおり開催する。

開催月日 令和 5 年 10 月 20 日(金)

開催場所 稚内総合文化センター (ハイブリッド開催)

主 催 北海道・稚内市・(公財)北海道健康づくり財団・(公財)北海道対がん協会

(4) 啓発セミナー

ア がん予防学級

道内各地域の道民を対象に、がんに関する正しい知識の普及を図るため、次によりがん予防学級を開催する。

開催回数 年間 4 回:札幌、旭川、釧路、帯広 各 1 回

開催場所 各がん検診センター会議室など

イ 第 55 回北海道家族の健康をまもる講習会

(公財)北海道結核予防会、北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会との共催により、がん及び生活習慣病に関する講習会を開催する。

開催月日 令和 5 年 7 月 5 日(水)

開催場所 かでる 27

ウ 健康教育・講習会等

市町村・企業・町内会・患者団体等の要望に応じ、がんに関する正しい知識の普及啓発を行うための講師を派遣する。

(5) 事業年報 2021 の発刊

2021(令和 3)年度の普及啓発事業及び検(健)診実績をまとめ発刊する。

(6) その他情報発信

ア 機関誌「しらかば」の発刊

北海道対がん協会の活動内容を掲載した機関紙「しらかば」を発行し、市町村、賛助会員に送付するとともにホームページに掲載する。

イ ホームページの充実

ホームページを情報発信として、新しい情報の提供に努め、協会事業の周知とがんに関する正しい知識の普及を図る。

ウ メディアの活用

新聞・テレビ・ラジオ等メディア及び市町村広報等を通じてがん予防の知識普及に努める。

- (7) 普及啓発の推進
- ア 地区組織との連携
各種団体・地区組織との連携を密にして、がんに関する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発並びにがん検診事業の拡大を図る。
 - イ 企業との連携
がん征圧の趣旨に賛同する企業と連携し、がんに関する正しい知識の普及と検診の拡大を図る。
・北海道コカ・コーラボトリング(株)との協働実施事業
事業名 乳がん啓発ピンクリボン活動「コカ・コーラ工場見学×乳がん検診ツアー」
 - ウ ボランティア団体への支援
がん征圧を目的とした活動に取り組んでいる団体を支援し、その団体の協力のもと検診の拡大を図る。
 - エ 健康まつり等への参加
市町村が行なう健康まつり等に協力し参加者へ啓発活動を実施する。
 - オ パンフレット、リーフレット、ポスター等の作成
パンフレット、リーフレット、ポスター等を作成配布し、がんに関する正しい知識の普及及びがん検診事業の拡大を図る。
- (8) 各種がん・生活習慣病対策会議
がん及び生活習慣病検(健)診事業を拡大し受診率の向上をはかるため、次のとおり会議を開催する。
- ア がん及び生活習慣病対策推進会議
次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に「がん及び生活習慣病対策推進会議」を会場参加とオンライン参加によるハイブリッド形式で開催する。
〔開催月日 令和5年9月15日(金)
開催場所 ホテルポールスター札幌〕
- (9) 受診率の向上
- ア 受診勧奨事業者との業務提携
 - ① Socio Future(株)との業務提携
江別市内にコールセンターを設置し、市町村検診の予約受付業務を代行する Socio Future(株)(本社:東京)と業務提携を行い、相互に協力して新たな市町村からの検(健)診受託及び検(健)診受診率の向上を図る。
 - ② (株)キャンサーズキャンとの業務提携
市町村毎に検診未受診者の傾向等についてデータ分析し、個々に有効な文書等を発送する業務により、他都府県市町村の受診率向上対策に実績のある(株)キャンサーズキャン(本社:東京)と業務提携を行い、相互に協力して健(検)診受託市町村等の受診率の向上を図る。
 - イ 未受診者への検診勧奨
未受診者勧奨ハガキや電話、チラシ等を活用し未受診者への働きかけを積極的に進める。
 - ウ 日曜検診の実施
3検診センターで年間14日、日曜検診を実施し、平日に受診できない人の受診拡大を図る。
- (10) 各センター検診の充実
- ア 各がん検診センター利用のPR
札幌市・旭川市・釧路市内の町内会へ積極的に検診をPRし、受診拡大を図る。
 - イ 検診の拡大
施設の改修と検査機器の整備等を実施し受診者の利便性を図り、健康診査・胃内視鏡検査等の拡大、ピロリ外来・便秘外来の拡充、特定保健指導の強化を行い、受診拡大を図る。
 - ウ 送迎バス利用の拡大
近隣の市町村を巡回して運行し、住民の受診機会の拡大を図る。

- (11) 検診設備(機器)の充実
ア 胃肺併用検診車(2台)
イ 子宮がん検診車(1台)
ウ 乳房X線撮影装置 更新(1式)
- (12) その他
ア 北海道がん対策基金
がん患者やその家族を社会全体で支え合うことを目的に設立された「北海道がん対策基金」の事務局として基金の管理・運営を行う。
イ 札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会
札幌市民、市内事業所を対象としたがんに関する正しい知識の普及、検診受診率の向上、がん罹患者の就労環境の整備などの対策に取り組むプロジェクトに参加するとともに、事務局として事業実施や進捗の管理等を行う。
ウ がん電話相談事業
がんに対する不安・悩み・疑問など関心を抱く人々からの相談に応じるとともに、がんに関する正しい知識の普及に努める。
エ 禁煙運動への参加
北海道たばこ対策連絡協議会及び北海道禁煙週間実行委員会に参加し、関連団体と禁煙運動の推進について協議するほか、WHOが提唱する世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加する。

2 調査研究事業

- (1) 学会研修
日本消化器がん検診学会北海道支部の主催する医師・放射線技師・保健師等の合同学会に参加協力する。また、職員の資質の向上をはかるため、各種学会・研究会に参加する。
- (2) 厚生労働省「がん対策のための戦略研究事業」
「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の研究団体として引き続き参加する。
- (3) 「北海道広域でのHPV自己採取検査に関する研究」
(株)ジェネティックラボを共同研究者として、自己採取法によるHPV-DNA検査の有効性の検証を行う。
- (4) 「間質性肺炎を検出するAIソフトウェアによる健診読影試験」
札幌医科大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座が行う研究に協力する。
- (5) 「ヒト胃に感染するピロリ菌以外のヘリコバクター属菌の実態調査」
杏林大学医学部を共同研究者として、ヒト胃に感染するピロリ菌以外のヘリコバクター属菌の感染率、関連疾患、内視鏡像の解明を行う。
- (6) 「上部消化管内視鏡検査対象者から得られた胃壁拭い液検体に対するヘリコバクターピロリ抗原キットの診断法適用に関する観察研究」
浜松医科大学医学部を共同研究者として、ヘリコバクターピロリ抗原キットの胃壁拭い液検体中のヘリコバクターピロリ抗原の検出がヘリコバクターピロリ感染症診断の補助としての有効性を検証する。
- (7) 「液体生検による消化器がん検診分子マーカーの探索」
旭川医科大学を共同研究者として、液体生検による新たな消化器疾患の検診法確立と分子生物学的マーカーの消化器疾患に有用であることを証明する。
- (8) 「全大腸内視鏡検査前処置における「クエン酸マグネシウム等張液」の当日法と分割法の受容性及び効果についての検討」
淳風会倉敷クリニックを共同研究者として大腸内視鏡検査の前処置において、腸管洗浄液の最適使用法を検討する。